

「測量歌の踊り」DVD制作の経緯

遠藤 長次郎 (土木33)



恒例の山梨梨会東京支部の総会に出席すると、何時も黒沢会長から「遠藤、測量歌の踊りをやってくれ」と言われるのですが私には踊れませんでした。学生時代に原美佳雄君が萩原光良先生から指導を受けて上手に踊

っていました。

平成23年の山梨梨会の折に黒沢会長に「萩原先生や原君は亡くなって踊りを知っている人もいなくなったから新しい踊りを作ったらどうだろうか」と提案したところ、黒沢会長が制作費用を出資してくださると言うことでDVDの制作に着手しました。

踊りを作るには、言うまでもなく、「元歌・伴奏・歌手・振付・踊り手とDVDの製作者」が必要なわけです。

元歌は、土木環境工学科の平山先生から送って頂いたCDや私の歌った歌を元に譜面上に楽譜を落とす採譜が必要です、これは幼稚園の園長にお願いしました。この楽譜をもとにコンピューターの達人に、三味線と太鼓と尺八の音をCDに入れてもらいました。

このCDをバックに慶応義塾大学の合唱団に所属している学生に歌ってもらい、CDとテープ（テープだと歌の速度の調整が微妙にできるので都合がよいと踊りの先生から特に要望があった）に収録しました。5月に開催されたクラス会に持参して出席者に聴いてもらったところ「まあ、いいだろう」という了解を得ました。

このCDとテープを持参して、あらかじめ振付をお願いしていた富士川町鮎沢の花柳吉宝先生のお宅に参上し、細かな振付の打ち合わせをしました。

7月初旬に吉宝先生から、踊りのDVDが届きました。早速、DVDをプリントして5月に歌を聴いてもらったクラスメイトに送付し、皆さんの意見を聴きました。

この意見を集約すると。

- ① ポールを持たない踊りを追加する（大勢で踊る時全員にポールの用意できない）。
- ② 音と踊りが良く合うようにする。
- ③ 出来るだけ男っぽい踊りにする。

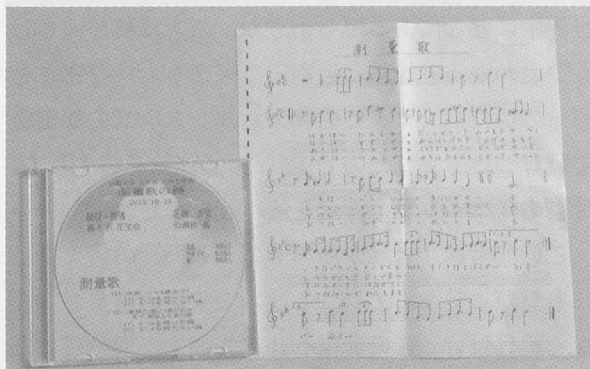
この3点を考慮した結果、現在の踊りが出来上がりました。

9月16日に、同級生の伊藤和美君に協力してもらい、山梨県富士川町の福祉会館をお借りしてこの踊りの撮影をしました。編集してみたら画面に不足している所があったので、再度10月21日に全体を10分に収める様なタイムスケジュールを作り、吉宝先生のお弟子さんの仙洞田晶さんに踊ってもらいました。横と正面の2方向から撮影して、踊りをわかりやすくしました。編集の時に字幕も入れてDVDを仕上げました。

このDVDは平成24年の山梨梨会東京支部総会の折に東京支部が50部ほど制作して、出席した会員の皆様にお持ち帰りいただきました。

その後、1年くらいに間に栃木・群馬・千葉・静岡・神奈川等の支部会で必要と言う要望がありましたので、各々10部くらい送らせて頂きました。

今回、黒沢会長の指導を得て、戸惑いながらも初めての仕事をさせて頂き測量歌の踊りが仕上がりましたことに私は大変満足しています。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



《編集委員から》

山梨大学工学部には前身の山梨高等工業学校、山梨工業専門学校頃に作られたいくつもの学生歌がある。土木工学科の「測量歌」はその一つである。

昨年、YouTubeに「測量歌の踊り」がアップロードされて、関係者の間では話題になった。そこで、そのDVDを制作された遠藤長次郎氏にDVDの制作経緯についてご執筆いただいた。

なお、山梨大学関連の学生歌については、山梨工業会関西支部ホームページ/歴史館に「山梨大学・学歌集 ～全目録編～」、「山梨大学・学歌集 ～音声編～」、「山梨大学・学歌集 ～歌詞編/工学部～」が紹介されている。

山梨工業会関西支部ホームページ/歴史館
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~yamanasi/ykk/museum/index.htm>